

**ServerView Suite
ServerView Agents
補足情報**

目次

■ はじめに	1
■ 対象バージョン	1
■ 補足情報	1
1 インストール要件	1
1.1 ネットワークポートの設定	1
2 インストール	1
2.1 関連サービスの停止	1
2.2 snmpd.conf の変更	2
2.3 snmpd.conf の localhost に対するコミュニティ名	2
3 アンインストール	2
3.1 ASR の無効化	2
4 サーバデータの詳細表示(シングルシステムビュー)	3
4.1 ASR の設定	3
5 その他	3
5.1 Agents のサービスの再起動	3
5.2 イベントログのソース名	3
5.3 プレードサーバの診断情報収集(PrimeCollect)	3
5.4 シスログのソース名	4

■ はじめに

本書は、ServerView Agents V5 に関する以下のマニュアルの補足情報です。本書をお読みになる前に、必ず以下のマニュアルもご覧ください。

- ・ Installation ServerView Agents for Linux (sv-install-linux-agent-jp.pdf)
- ・ Installation ServerView Agents for Windows (sv-install-windows-agent-jp.pdf)
- ・ ServerView System Monitor (sv-ssm-jp.pdf)
- ・ ServerView でのユーザ管理 (user-mgt-jp.pdf)

■ 対象バージョン

本書は、以下のバージョンの ServerView Agents(以下 Agents)を対象にしています。

本書の対象バージョン : V5.00、V5.01、V5.10、V5.30、V5.50

■ 補足情報

1 インストール要件

▶ Windows

1.1 ネットワークポートの設定

Windows Server 2008 の動的ポート割り当て設定で、開始ポートを変更すると ServerView Operations Manager/Agents が使用するポートと競合し、ServerView Operations Manager、Agents が起動出来なくなる場合があります。開始ポート設定を変更する場合、ServerView Operations Manager/Agents の使用ポートと競合しない様に注意してください。

ServerView Operations Manager/Agents が使用するポートはマニュアル(高セキュリティ PRIMERGY サーバ管理:sm-security-jp.pdf)を参照してください。

2 インストール

▶ Windows

2.1 関連サービスの停止

次のいずれかのソフトウェアがインストールされ、サービスが起動している場合、Agents のインストール開始前にこれらのサービスを一時停止する必要があります。なお、Agents のインストール終了後はサービスの再開が必要です。

- ・REMCS エージェント(Windows)： F5EP00RMSERVICE サービス、REMCS RmAosfB サービス
- ・HRM/server(Windows)： F5EP70_HRM_ctrl サービス

-
- RAS 支援サービス(Windows)： F5EP50 サービス

▶ Linux/VMware

2.2 snmpd.conf の変更

Agentsをインストールした後に、snmpd.confファイルを編集した場合、編集後にAgents及びsnmpdを再起動する必要があります。

2.3 snmpd.conf の localhost に対するコミュニティ名

snmpd.conf内の以下の行は削除しないでください。存在しない場合は追加してください。

```
com2sec svSec localhost <コミュニティ名 >
```

この行で指定したコミュニティ名は、Agentsが内部アクセスする際に使用されます。

また、ブレードサーバの場合にはマネジメントブレードにアクセスする際にもこの行で指定したコミュニティ名が使用されます。マネジメントブレードでこの行で指定したコミュニティ名でのアクセスを許可するように設定してください。

この行が存在しなかつた場合、Agentsはコミュニティ名「public」で内部アクセスを行います。このとき、コミュニティ名「public」の通信が許可されていない場合、SNMP認証エラーが発生します。

3 アンインストール

▶ Windows/Linux/VMware 共通

3.1 ASR の無効化

ASR機能の設定をしたまま Agentsをアンインストールした場合、予期せぬ原因でサーバがシャットダウンされることがあります。

また、ASRの電源 OFF/ONのスケジュール機能を設定しているサーバから Agentsをアンインストールする場合は、事前に必ず、スケジュール設定を全て無効にしてください。スケジュール設定を有効にしたまま Agentsをアンインストールすると、スケジュール機能による電源 OFFが動作し、これによって、サーバのOSをシャットダウンせずに電源 OFFされる場合があります。

4 サーバデータの詳細表示(シングルシステムビュー)

▶ Windows/Linux/VMware 共通

4.1 ASR の設定

ASR の設定内容は、ServerView Operations Manager/Agents には保持されません。サーバ本体の BIOS/BMC(RSB/iRMC)に格納されます。

5 その他

▶ Windows

5.1 Agents のサービスの再起動

Agents のサービス(サービス名:「ServerView Server Control」)を再起動する場合、「SNMP Service」も合わせて再起動する必要があります。

「ServerView Server Control」の再起動に際して、「SNMP Service」の再起動を行わなかった場合、正常にサーバ監視ができない場合があります。

5.2 イベントログのソース名

Agents が OS のイベントログにログを記録する際のソース名は、以下の通りです。尚、ログの種類は全て「アプリケーション」です。

- ・ServerView Agents
- ・ServerView Virtualization Management Agents
- ・ServerView Remote Connector
- ・ServerView Server Control

▶ Linux/VMware

5.3 ブレードサーバの診断情報収集(PrimeCollect)

ブレードサーバの診断情報収集(PrimeCollect)を実行すると、アーカイブ取得処理によりマネジメントブレード(MMB)に対して、SNMP コミュニティ「public」を使用した SNMP 通信が行なわれます。

このとき、マネジメントブレードで SNMP コミュニティ「public」による SNMP 通信が許可されていない場合、マネジメントブレードに SNMP 通信の認証エラーが記録されます。

この場合、認証エラーを無視するか、マネジメントブレードで SNMP コミュニティ「public」による SNMP 通信を許可する設定を行なってください。

5.4 シスログのソース名

Agents がシスログ(/var/log/messages)にログを格納する際の、ログの先頭文字列は、以下の通りです。

- Serverview:
- srvmagt_scs:
- vmeagt:
- ServerView RemoteConnector:

以上